

My Muscle Chef

最先端の食品製造施設における統合セキュリティ



会社名

My Muscle Chef

業種

食品製造

所在地

オーストラリア、ニュー サウスウェールズ州シドニー

製品

Security Center, Synergis IX, Omnicast™, AutoVu™, SharpV

パートナー

JD Security

**MY MUSCLE
CHEF**

My Muscle Chefは、Genetec™ Security Center を活用して、新たに数百万ドルを投じ、食品製造施設のセキュリティを統合しました。

My Muscle Chefは、高品質の調理済み食品や持ち運び可能な軽食を幅広く揃え、オーストラリア人の日常生活にスマートな栄養を提案しています。同社は2013年の創業以来、従業員3名の小さなキッチンからオーストラリア有数の食品製造施設に成長しました。

2022年には、シドニー西部郊外に最先端の製造施設を新設しました。5,500万オーストラリアドルを投じたYennoraの物流・製造工場は1万平方メートルに規模を拡張し、同社の製造能力は週50万食から120万食に増大しました。

同社は広範な市場調査を実施し、それから製品ラインを拡大し、できたての食事、軽食、飲み物が加わりました。この新しい施設ができたことで、同社は市場をリードする最先端技術を活用し、オーストラリアの食品製造のベンチマークであり続けることができるようになりました。

ターンキーセキュリティソリューションを活用したビジネスの拡大

この製造施設を新設する前、My Muscle Chefには、ビデオ、入退室管理、自動ナンバープレート識別、インターコムを

管理する一元管理型ソリューションはありませんでした。中央管理点がなかったため、セキュリティ担当者はそれぞれ一つの目的のために構築された複数のプラットフォーム統合に依存していました。ニーズに対応できないシステムが原因で、運用面と物流面の両方に問題が生まれました。

高まる消費者需要に応えるために、同社の新工場では、製品の品質を優先し、厳しい食品安全基準を遵守しつつ、製造能力を向上させる必要がありました。施設全体において最先端のテクノロジーに多額の投資をしてきたMy Muscle Chefは、プロジェクトスコープを満たす統合セキュリティソリューションを必要としていました。

Genetec™ Unified Elite パートナーでありシステムインテグレータでもあるJD Security と協働する My Muscle Chefは、ビデオ管理、ナンバープレート識別、入退室管理、インターコムを単一の場所から提供する統合セキュリティプラットフォームとして、Security Center を選びました。

John Khoury氏 (My Muscle Chefのテクノロジーおよび変更管理責任者) とTobias Dunn氏 (My Muscle Chefの運営責任者) の両者が、この選定プロセスに加わりました。Genetec™

は、Luke Johnston氏 (JD Security の技術および営業責任者) とともに、事業の拡大に必要な統合セキュリティソリューションを提供できるクラス最高のソリューションであると推奨されました。

一元管理型セキュリティで最高品質の施設を実現

Yennora の新しいMy Muscle Chef 本社では、製造、倉庫、運営を一元管理しています。Security Center の統合ソリューションを導入すると、セキュリティ担当者は工場全体の様子を把握し、セキュリティイベントを監視し、単一の場所から対応を管理できるようになります。

100 台以上のカメラを使って、製造ラインから倉庫フロアまで、施設全体をリアルタイムで監視できます。外に複数の入口があり、営業時間外に多くの車両 (ゴミ収集車など) が到着する場合は、3台のナンバープレート識別カメラを使って、承認を受けた事前検査済み車両のみを円滑に出入りさせることができます。各トラックの現場にいた時間を自動的に記録するカメラを使えば、レポートとコンプライアンスの手続きを簡素化できます。

25 を超えるドアに設置した入退室コントロールシステムを活用すれば、会社の従業員と資産を安全に保つことができます。My Muscle Chef は、顔認識を追加することで、本人確認のプロセスを合理化し、キーカードやキーホルダーなどの物理的なツールではなく、安全な生体認証に基づいた入退室管理ができるようになりました。このプロセスにより、顔認識を使って入退出時間を記録できるため、スタッフのタイムシートと出勤記録を確認するプロセスが最適化し、リスクの高い製造エリアの安全を確保できます。

Sipelia インターコムを5台以上設置すると、警備員とスタッフ間のやりとりをシームレスに管理できます。

さらに、Synergis™ IXを使用した100を超えるアラームポイントを活用して、セキュリティ担当者はモーションセンサーから重要なアラーム用の警報サイレンまで、すべての手段を使って、セキュリティ上の脅威が生じる可能性を減らし、あらゆるインシデントに迅速かつ正確に対応できます。

「Genetecに切り替える前は、スタッフの入退室管理とチームメンバーの日々の行動を管理することは困難でした。現在では、すべてのアクセスポイントを単一のシステムから監視および管理できるため、My Muscle Chefの効率性が向上し、セキュリティが大規模に強化されています」と、JD Securityのディレクター兼技術・営業責任者であるLuke Johnston氏は述べています。



効率性と生産性が大幅に向上

My Muscle Chef は、テクノロジースタックを統合することで、複数のツールの管理にかかるコストと非効率性を削減できました。単一の統合ソリューションを導入することで、時間とコストの効率化と生産性の向上というメリットを享受できるようになりました。

この新施設の設計段階から、統合テクノロジーはセキュリティ担当者にとって重要な優先事項でした。さらに、特に最新版やソフトウェアの更新版がリリースされたときに、メーカー間でソフトウェアとハードウェアの互換性を維持する上で問題となり得る、高レベルの統合 (HLI) を回避できるソリューションが必要でした。

Security Centerのソフトウェアを使って単一のコアラインを監視することで、建物全体のエリアの入退室とID確認の管理が合理化かつ簡素化できます。そうすることでMy Muscle Chefは、物理的なキーカードとアクセスパスを、生体認証リーダー (顔認識など) と車両認識テクノロジーに置き換えることができました。

現在、My Muscle Chefは施設の特定のエリアにアクセスゾーンを設定し、ビジネスニーズに合わせて設定をカスタマイズできるようになりました。スタッフの役割と責任に基づいて、アクセスが必要なゾーンのみに入退室権限を制限できます。

Genetecを介して統合製品スイートを活用することで、高水準の統合の必要性を減らし、信頼性を高め、システムエラーが生じる可能性を低減できます。さらに、単一のソリューションを活用することで、My Muscle ChefとそのパートナーであるJD Securityの両方において大幅な時間削減ができ、セキュリティ担当者はセキュリティインシデントを簡単に特定し、関連するアクセスポイントを特定し、セキュリティ担当者を効率的に配置して要求に対応できるようになります。

将来のコンプライアンス義務を確実に果たす

複数年にわたるソフトウェア保守契約を締結するMy Muscle Chefは、継続的にサポートを提供し、コンプライアンスや政府規制（特に食品安全基準と建物のセキュリティ）に変更が生じた場合にも確実に準拠できるようにしています。

適切なシステムを導入して製造ラインをリアルタイムで可視化することで（必要な場合）、セキュリティ担当者は自信を持って容易にOH&Sコンプライアンス要件を満たすことができます。現在、セキュリティ担当者は、Genetecのソリューションスイートを活用して、事後対応的ではなく事前予防的なメンテナンススケジュールを導入し、機械統合の運用を将来にわたって保証することを検討しています。

My Muscle Chefは、今後さらに多くの拠点や施設が開設された場合にも、事業に合わせて拡張可能な専門知識と能力の提供をGenetecから受けられると確信しています

「プラットフォームの統合機能を備えたGenetecは、My Muscle Chefにとって当然の選択でした。JD SecurityはGenetecのプラットフォームを活用し、当社のプロフェッショナルサービスを利用してMy Muscle Chefの要件を満たすことができました」